

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ



2021-2022年度

会長:相羽繁生 幹事:久保哲政 広報委員長:森 正志

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/名古屋銀行協会 名古屋市中区丸の内2-4-2 〒460-0002

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2022 June 1

■ 2021 ~ 2022 年度方針

ロータリーに参加し、楽しみ、奉仕しよう

NO.24

例会報告

●第2389回例会 令和4年6月1日(水) 晴

●6月はロータリー親睦活動月間

●君が代

●ロータリーソング 奉仕の理想

●出席報告 会員 86 (72) 名中 出席51名

出席率70.83%

●ゲスト紹介

米山奨学生 レー ティエン ヒュー君

●ニコボックス

「今、タイムリーでホットな話題といえば、DX(デジタル・トランスフォーメーション)本日の卓話は、Man to Man株式会社のデジタル推進室責任者 岩佐朱美(いわさ あけみ)が担当します。短い時間ですがよろしくお付き合い下さい。」田中正次君

「本日で銀行協会 ホテルオークラレストランでの例会は最後となります。お世話になりました。」相羽繁生会長、中川信治副会長、久保哲政幹事

「銀行協会での例会、本日最終です。いろいろお世話になりました。又いつかお会いできるのを楽しみにしております。」加藤一郎君

「50周年記念コンペでハンディキャップに恵まれ優勝することができました。同伴競技者の安井さん、相羽会長、平野さんありがとうございました。ご褒美のシェコーベの商品券は周年に花を添える形で祝勝会を企画します。」田中正次君

「青少年からのお願いです。名城ローターアクト委員が現在7名です。いい方がお見えになればご紹介下さいよろしくお願ひします。」平木聖三君

本日のニコボックス 5件 30,000円

累 計 100件 1,209,600円

久保哲政幹事報告

▽6月のロータリーレート

6月のロータリーレートは1ドル127円です。

▽例会場変更のお知らせ

2022年7月より名古屋銀行協会から名古屋東急ホテルへ変更となります。

※本日、ご案内を配布しております。

▽当クラブの行事予定

・6月8日(水) 50周年夜間リハーサル 18時~
場所 名古屋観光ホテル

※名古屋銀行協会でのお昼の例会はございません。

・6月15日(水) 創立50周年記念例会

受付 15:30 ~

講演 16:00 ~ 17:00

式典 17:20 ~ 17:50

祝宴 18:00 ~ 20:00 予定

場所 名古屋観光ホテル

※名古屋銀行協会でのお昼の例会はございません。

・6月22日(水) 休会

・6月29日(水) 会場の都合により名古屋観光ホテルにて通常例会。

※本日、ご案内を配布しております。

・6月29日(水) 新旧理事会

場所 か茂免(かもめ)

17時~ 今年度

17時30分~ 次年度

18時~ 懇親会

※今年度・次年度の理事及び役員のご出席をお願い致します。例会終了後の理事会はございません。

相羽繁生会長挨拶

皆さんこんにちは。

本日の卓話はマンツーマンの岩佐朱美(いわさ あけみ)さんです。宜しくお願ひ致します。そして米山奨学生のレー ティエン ヒューさんご来訪ありがとうございます。ゆっくりして行って下さい。

そして本日が当銀行協会での例会の最終日になります。スタッフの皆様にはこの二年間お世話になりましたことに御礼申し上げます。

ありがとうございました。

さて、まずは理事会の報告をしたいと思います。

・事務局の期末手当を承認

・社会奉仕委員会並びに青少年・ローターアクト委員会からの報告がありました。後ほどまたは後日委員長に報告して頂きます。

次に50年前の6月の出来事を遡ってみたいと思います。

1972年6月は8日に労働安全衛生法が施行

11日に田中角栄通産相が日本列島改造論を発表

12日に音速旅客機コンコルドが東京国際空港(羽田空港)に飛来

15日にストックホルムで国際連合人間環境会議が開催

17日に佐藤栄作首相退陣を表明

同じく17日にウォーターゲート事件が発覚

20日にサントリーが業界初の500ミリリットル入り缶ビール(ロング缶)を発売。缶ビール容器多様化の始まり

27日にイギリスのポンドが変動相場制に移行

大きな変革があった年ですね。

いよいよ今年度の最後の月に入りました。大きな山が二週間後に迫ってきました。皆さんのお力を頂き越えたいと思いますのでご支援ご協力を宜しくお願い致します。

今日は以上でございます。ありがとうございました。

卓 話

田 中 正 次 2020～2021年度会長
Man to Man株式会社

岩 佐 朱 美 デジタル推進室責任者



最近では、デジタル化、DXという言葉をよく耳にするとはおもいますが、DXとは何なのでしょう。政府はDXをこんなに強く推奨するようになったのでしょうか？DXに関して、私たち企業はどのように取り組まなくてはならないのでしょうか？また、取り組まなかった時のデメリットはなんのでしょうか？経営者として、知っていただきたい内容をコンパクトに本日はお話しさせていただきます。

DXは、デジタル・トランスフォーメーションの略で、ずばり、「デジタル技術をつかって企業変革を引き起こすこと」と言えます。経済産業省は、すべての規模の企業に、DXを推進することを強く呼びかけています。

その理由として、経済産業省のDXレポートには、日本の企業が取り組まなかった時は「2025年の崖」が起きて、日本経済が停滞し国際競争で競争力を失い年間12兆円の損失が生じると予想されているからです。一方、経済産業省は、すべての規模の企業にDXを推進しやすくするための補助金や事例支援などを充実させてきています。

では、私たち企業はどのようにDXに取り組めばいいのでしょうか？なかなかイメージわかりませんよね。でも、実は、DXの企業での実現例は、私たちの身近に多数あります。その一つの例は、最近出てきている不動産物件の内見をスマートフォンやVR（バーチャルリアリティ）で実現するサービスです。現地に行かなくても効率的に物件が見られ、顧客の利便性があり、不動産屋さんの同行の手間も省けます。顧客サービスの変革をDXで実現した例で、この新規サービスを伸ばしているようです。弊社Man to Manでも、自社の求職者サイトで、自動応答のチャットボット（チャット（おしゃべり）+ボット（ロボット））を導入しました。これは、求職者さんが、一番お仕事を探す時間帯、つまり、土日だったり、勤務後自宅に帰った夜だったりする時間帯でも、スマホを使ってひとつひとつ質問していくことで、チャットボットがお仕事に関する質問に丁寧に答えてくれるわけです。24時間、弊社の求職者対応の担当者を置かなくても、求職者さんの満足度を得られます。これもDXで、チャットボット導入で、新規の応募者が50%増えたという事例

もあるようです。また、製造現場でもDXは進んでいます。現場は、不良品がでて紙などで業務を回している現状があるために「見せない化」が起ってしまっています。これによって、本来は、早期の不良品対応をすべきところ経営判断が遅れてしまっているという残念な実態のようです。

ここで手書きの記録を直接入力できるタブレットをつかったリアルタイム入力に切り替えたところ、生産状況、作業状況の見える化が実現でき即時の「ムダ」箇所の判断を経営者ができるようになったという例です。実はAI（人工知能）もDXで活用します。自動検査は職人の技だったりしますが、職人の高齢化により技の伝授が難しくなっている現状をAIは変革を支援する道具になっています。

また、AIや、RPA（業務自動化ロボット）、OCR（紙文字のデータ書き起こし）など、DXを難しい知識がなくても実現できる道具も、最近では安価に活用できるようになってきていることも注目できる場所です。

弊社での事例をご紹介します。RPAを総務系の事務員が勉強した結果（1時間を6回程度）、いままで手作業でやっていた事務業務をRPAというロボットで実施できるようになりました。結果、現時点で月に220時間の業務自動化ができ、弊社の事務員は大変モチベーションあがっており、さらなるRPAの他業務への活用を自分たち同士で議論しています。社内のデジタル・リテラシーがあがってきている状況が我々にもみてとれるうれしい状況です。

ここまでDXの身近な事例をご紹介します。いかがでしょうか？イメージもっていただけましたでしょうか？弊社もDXに奮闘していますが、皆様においても、競争優位性を維持していくためには、やっぱりDXは待ったなしの状態かと思えます。皆様方経営者様には、是非に、早期のDXの取り組みの方向性を社内に打ち出し、変革を起こすデジタル技術と経営の両方がわかるリーダーの育成をお勧めします。初めは、費用面、効果面の勘所がない、人材を育てる先生となる人材も身近にいないなど、不安があるかと思えます。その場合は、適宜プロの力を借りればいいのです。

総合人材コンサルタント企業として成長してきたMan to Manも、DXの専門部隊を組織しておりますので、各業種で培ってきた新メンバーの経験、ノウハウを皆様にご提供していきたいと考えております。よろしければ、お気軽にMan to Manのデジタル戦略推進にお声掛けいただければ幸いです。どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

連絡先：dx-suishin@man-to-man-g.com

| 例会 | 月日 | 今後の予定 |
|--------|-------|------------------------------------|
| 第2390回 | 6. 8 | 創立50周年夜間リハーサル例会 18：00～ 名古屋観光ホテル |
| 第2391回 | 6. 15 | 創立50周年記念例会 16：00～ 名古屋観光ホテル |
| | 6. 22 | 休会 |
| 第2392回 | 6. 29 | 相羽繁生会長挨拶 名古屋観光ホテル |

○このウィクリーは再生紙を使用しております。